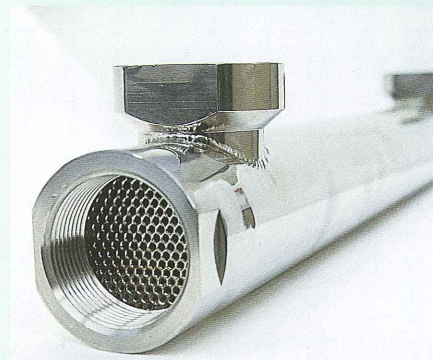


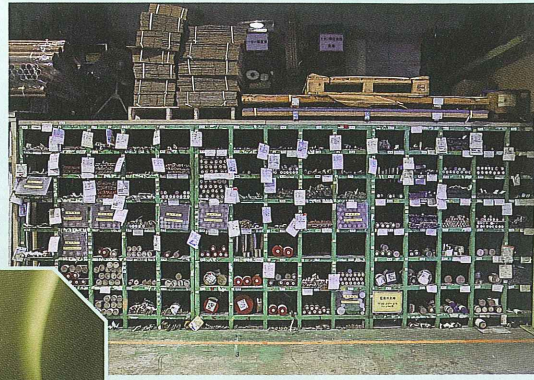
マイクロ熱交換器組立中



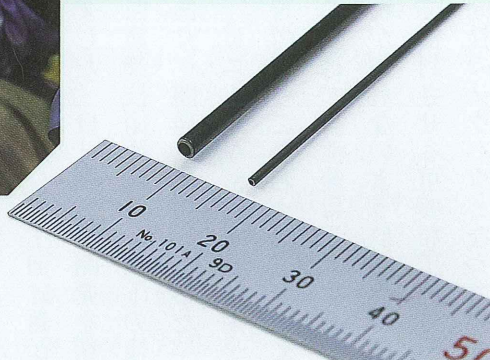
溶接作業（チタン魔術師）
チタン製品に不可欠な
高度な溶接技術をもつ
熟練技能者が対応



マイクロ熱交換器 完成品



チタン丸棒ストック
豊富な在庫で短納期対応を実現



ガスタービン用電解加工用電極

最高品質のチタン加工技術!医療製品から船舶素材まで

株式会社東京チタニウム

【所在地】 さいたま市岩槻区古ヶ場2-3-10 (本社)
さいたま市岩槻区古ヶ場2-2-9 (工場)

【代表者】 代表取締役 小澤日出行

【事業内容】 チタン材料販売、チタン加工

【資本金】 4,000万円 【従業員数】 26名

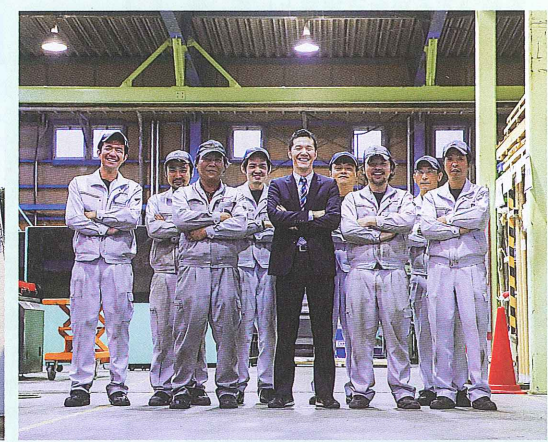
【TEL】 048-795-0470(本社) 【URL】 <http://www.titanium-japan.com/>

INTERVIEW

インタビュー



チタン加工の専門会社外観



お客様のニーズに応える製造スタッフと営業部長



「チタンは軽く、強く、
耐食性に優れた金属です」
と語る小澤社長

器・タンク、食品機器用電極、アルカリイオン整水器電極などに使用されています。

そのほかにも電力・化学プラント、航空・宇宙、自動車、建築・モノユメント、IT半導体、スポーツ民生品に使われており、最近では潮力発電、地熱発電、海洋温度差発電などのグリーンエネルギー関係にも期待されています。

●最高品質の加工技術を駆使し、新たな製品開発に取り組んでいるようすが。

小澤 ターゲットとして、医療機器産業、海洋機器産業、食品機器産業、航空・宇宙産業、ロボット産業を考えました。

医療と海洋、食品分野の開発は公的補助金などを活用しながら開発に取り組んでいます。航空・宇宙とロボット分野については今後を視野に勉強中です。

第一ターゲットとして医療機器分野に力を入れています。薬事関係では第一種医療機器製造販売業許可と医療機器製造業許可を取得しました。ISO9001やISO14001に加え、医療機器の品質保証のため

の国際標準規格ISO13485も平成二五年に取得しました。

自社開発製品を国内外の展示会に出展し、製品評価と販路開拓に努めています。最近では六月二五日から二七日に東京ビッグサイトで開催された「第五回医療機器開発・製造展」に出展したところ、多くの反響をいただき、さらに良い製品を提供しようという決意を新たにしました。

●今後の抱負は。

小澤 中小企業ですから経営資源に限界があり、開発のためのマンパワーが課題です。良い人材を確保、育成し、開発のスピードを速めていきたいです。

チタンはあらゆる分野に応用が可能な素材です。分野ごとにそれぞれ活動内容も違ってきます。当社でも分野ごとの対応となります。分野ごとに分社化できれば、効率が高断然よくなることは明白です。ですから、ゆくゆくは分社経営を目指したいと考えています。

これからも最高の品質管理と技術をもって製品をつくり、お客様の満足と信頼を得ていきます。

●日本におけるチタン加工のバイオニアということですが、貴社の事業内容を教えてください。

小澤 昭和五七年の創業以来、チタン一筋に素材・部品の販売および加工・製造を行ってきました。

自社内に材料在庫と機械加工・板金加工・溶接加工といった加工設備と設計を携えて、お客様のニーズにお応えできるよう、従業員一同業務に取り組んでいます。

まず、「ワンストップ対応」で、安心、安全、安定した製品を提供しています。純チタンとチタン合金の丸棒材、板材、異径材、パネ材など、種類、サイズが豊富で、バリエーションの多さは世界トップクラスを誇ります。例えば、φ三五〇という大きさの丸棒材を扱っているのは日本で当社だけです。

また、短納期・小ロット対応を得意とし、素材ならワンデイ、加工ならワンウィークで納品できるシステムを可能にしています。

さらに、素材屋ならではのノウハウを生かした「プラスワン提案」でお客様の要望にお応えすること、高い信頼をいただいています。

●チタンはどのような分野に活用されていますか。

小澤 チタンの特性は軽量、高耐食性、高比強度です。そのほかにも無害・生態適合性、非磁性、可燃性・耐熱性などに優れています。

価格が高価、耐摩耗に劣る、熱・電気伝導率が低いといった弱点もありますが、優れた特性により、チタンはあらゆる分野で活用されています。

生態適合性がよく、アレルギー反応を起こしにくいので、直接人体に触れるものが多い医療用製品においては、人口骨、歯根、心臓弁、心臓ペースメーカー、ステント・カテーテル、動脈クリップなどに使用されています。

また、海水に対して優れた耐腐食性の高さがあることから、海洋土木事業のように海水に直接触れる製品への使用や交換・メンテナンスが行いにくい製品（漁船、深海艇、地震計、海底石油ライザーパイプなど）に使用されています。

さらに、生態適合性がよく、耐腐食性が高いため、安全・安心を求め食品分野でも醸造用熱交換